

スシ、糞ヲ忌ム、胡麻糟ニ宜シ、稻若水云、葯圃回春日曇花花紅子堪串珠微香、是檀特花ナルベシト、
〔和漢三才圖會九十四本〕檀特花

按檀特草高三四尺、葉似芭蕉而小不甚柔、又似薏苡而大不甚硬、長尺餘濶三四寸、冬枯春生、七月抽

莖開花深赤色、形如穗、最可愛、結子圓黑色、甚硬、用作念珠、本西南外國之草性最畏寒、如值霜雪則失

種、故防北向南之地可種、冬則覆稈或稻葉等、以禦寒濕、其子爲念珠、形色如作成而良、

〔草木育種下〕蘭蕉六書 冬中圃へ人糞を曝し墾置、四月種を蒔べし、夏は根廻へ藁を敷て日を

防べし、赤花のもの黄花のものあり、

〔剪花翁傳三月〕開花 檀特 蘭蕉 花黄あり、赤あり、形囊荷の花の細長きがごとし、開花五月上旬

なり、是は新根を土に圍ひ置、春彼岸に移れば五月に咲也、方日向、地畝を高くして一分濕りよし、

濕氣多き時は枯朽るなり、土えらばず、肥淡小便、春芽出し前一二度、又花前に一度そぐべし、下

種移春ひがんより三月中よし、新根貯ひやうは、地二三尺ばかり掘砂をしき、其上に耐よを布、又乾

き土を布て新根を並べ、又土を厚くおきて、筵などを覆ひ置べし、

〔大和本草七〕紅蕉略 今案ニ、美人蕉初薩州日州ニアリ、琉球ヨリ來レリ、近年畿内處々ニウ

フ、甚寒ヲオソル、九十月ニ根ヲホリ出シ日ニヨクホシ、南ニ向ヘル屋下ノ土ニ埋ミ、上ニオホヒ

ヲスベシ、或春ヨリ南ニ向ヒ、北フサガリタル濕ナキ陽地ニウヘ其マ、ヲキ、上ニ大ナル箱或瓶

ヲ以掩ヒ、寒風ニアツベカラズ、然ラザレバ寒ニアヒテクサリ枯ル、冬ハ水ヲソ、グベカラズ、三

月温ニナリテホリ出シウフベシ、又實ヲマクベシ、

〔董修本草綱目啓蒙十〕甘蕉略 中

集解、紅蕉和名モ美人蕉ト云、一名ヒメバセウ、琉球ヨリ來ル、苗芭蕉ニ似テ小シ、葉モ狭ク短シ、花

ハ紅ニシテ朱ノ如シ、形囊荷ノ花ノ如ク、狹瓣三寸許、左右ニ互生スルコト四五寸、觀ニ堪タリ、秋

紅蕉